
みねと、ラムネと、てんと、まと、

梨一雑

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

みねと、ラムネと、てんと、まと、

【Nコード】

N4283J

【作者名】

梨一雉

【あらすじ】

俺こと峰岡雄介みねおかゆうすけと坂本は幼馴染。

高校へ入学して2ヶ月で佐崎まこに告白される。

なのだが、俺は断ってしまった。それには理由がある

そこから始まる、

俺と坂本たちとのちょっと変わった青春学園ストーリー。

1話 理由はあるかもしれない

「峰岡君のことが、好きです。私とつ、付き合ってください!」

俺の目の前には、女の子がたっている。

腰まである、絹のような長い栗色の髪に隠れて、顔は見えない。だが、ほほを紅潮させて、唇を噛み締めていることだけはわかる。

告白が恥ずかしいのか、
それとも俺といるのが恥ずかしいのか。

どちらにせよ早く返事を返して
教室に返してあげることが一番ではないか。

そんなことを考えながら、
俺を重々しく唇を動かした。

「あー・・・、ごめんな」

そう返事をする女の子は、
片手で目辺りをこすりながら、走っていった。

あつちは倉庫で行き止まりじゃないか。

パニックになってるからかな。と思いつつ俺は正門の方に戻ろうと
した。

突然ガンガンという騒音がフェンス側から聞こえた。

「みねの癖に、女の子をふるなんてっ」

さかもとたくみ
坂本拓海が、

フェンスの頂上に座るようにしながら俺にいった。

坂本とは生まれる前からの知り合いで、

幼稚園から現在、つまり高校までずっと一緒だ。

親同士が親友で、家も近いから、

暇なときや週末は必ずどちらかの家に、家族総出でいく。

お互いの家に遠慮や配慮は全くなく、

もはや家族と違っていいほど、特別な関係といっても過言ではない。

3

そんな奴とはいえ人の恋愛に口出しされる筋合いはない。

俺は、「うるさいな」と呟いた。

まるで母に問いただされた

反抗期の少年のような言い方だったな。と思った。

「結構かわいい子なのに。みねにはもったいないくらいだったのに、
つと」

坂本はフェンスから飛び降りた。

着地もきれいに決めて、俺の前に立った。

「顔なんか見てない」

俺は眉間にしわを寄せた。

「また、なんで？」

「ずつとうつむいてた。というか、あの子名前はなんていうんだろ」「なんだったつけ……。ああ、思い出した、佐崎まこだ」坂本はポケットから何かとりだした。

「佐崎まこねえ」俺はうなずきながら、手を出した。

「何でオツケーしなかったわけ？好きな子でもいるわけかな？みいねおかくん」

からかうように坂本が笑った。

笑いながら俺の手のひらに2つ何かを落とした。

「うるせつ、俺の勝手だろお」それを口の中に放り込んだ。舌の上でそれは溶けた。

ザラつとした感触が舌に残る。片方はバナナだ。

「ウエツ、お前これイチゴ味じゃん……」

「いいじゃん。勝手に出てきたんだからさ。みねに食って欲しかったんだよ」

「ラムネにそんな感情はねえよ」

バナナ味とイチゴ味が混ざった液体を飲み込んだ。

俺は顔をしかめながら、校門の方に歩いた。

坂本も俺に続く。

「今日、俺んちに泊まらない？」

坂本がラムネを口に入れながらいった。

「別にいいけど」

どうせ母さんはお前の家だし。と付け加えた。

「了解」

坂本の笑みが少し歪んでいたことに

俺は気づいていないフリをしていた。

1話 理由はあるかもしれない(後書き)

初投稿です・・・

誤字脱字などがあれば報告してくださいと嬉しいです

ペースは亀並みだと思いますが

よろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4283j/>

みねと、ラムネと、てんと、まと、

2011年1月28日09時46分発行